

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:2024年2月9日

事業所名:放課後児童クラブすずらん

保護者等数(児童数) 11(12) 回収数 11 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏ました対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11					・活動や天候によって活動場所をえています。また、人数を分けて活動をしたり、子どもの活動スペースが窮屈になったりしないよう配慮しています。・学習時間で設けています。上級生は静かな環境の方が集中して取り組めるというときは、別室で宿題に取り組めるように配慮しています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	11					・職員は1日定員10名に対しての配置基準は満たしています。毎日受け入れる児童数も子どもの発達状態に応じて、定員いっぱいではなく、受け入れ人数を調整しています。専門性に関しては、全職員保育士免許または教員免許を持っています。月1回ケース会議を行い、支援の共通理解を全職員で行っています。まだまだ至らない点もありますが、職員一同療育についての専門性の向上に努めてまいりたいと思います。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11					・事業所の設備等に聞しましては、スロープや手すりを設置し、段差なく部屋に入れるように配慮をしています。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	11				・子どもの特性をすごく把握していく特性にあった計画が作成されています。	・ありがたいご意見ありがとうございます。保護者面談の中で、子どもさんや保護者の方のニーズを聞きながら、1人ひとりの課題について、個別支援計画書を作成しています。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1			・いろいろな取り組み、計画ありがとうございます。	・ありがたいご意見ありがとうございます。毎月の活動プログラムでは、音楽、ルーラーのある遊び、セクレット活動、運動遊び、等を計画しています。子どもたちも毎月、毎年継続して同じ活動をすることで、見通しをもって活動に参加できたり、成長を感じたりすることができます。それぞれの発達段階に応じて、活動の内容をすこしずつ変えています。その中で、上級生は、それぞれの進歩に向けて、すみれクラブの同級生と一緒に活動をしたり、本人が自分がしたい活動を自分の力で選択できるようにする活動も取り入れています。6年間すずらんに通っていただき、毎年行う活動で見通しを持てたり、季節感を味わうことができたりと、その後の子どもたちの人生が豊かになるようなプログラムも取り入れています。
保護者への説明等	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11				・すみれクラブとの合同遠足、いつも楽しみにしています。	・同法人では、同じ建物内で学童保育すみれクラブがあり、合同で遠足に行ったり、行事活動を一緒にしたり、戸外活動で一緒に遊んだりしながら、交流を深めています。今年度から、すみれクラブと友達と一緒に活動をする機会を増やしています。中集団でのゲーム遊びを通して、感情のコントロールの仕方やコミュニケーションの力を付けていくように取り組んでいます。
	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					・毎年、契約更新の際に支援内容の説明、利用者負担等に関して重要事項説明書の説明を必ずしています。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができるか	11				・お迎えの時やさっそくノートで状況を教えてください、ありがとうございます。	・帰りの会から閉所までの時間にスタッフが保護者の方にすずらんでの様子を伝えるようにしています。また、お迎え時にお伝え出来なかった時は、さっそくノートの連絡帳をおねがいさせていただきました。今後も、保護者の方へ子どもさんの状況をしっかりと伝えていけるよう心掛けています。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11				・アドバイスいただき、助けてもらっています。	・年に3回療育相談会を設けており、保護者の方のご家庭での悩みや困り感をゆっくりと相談できる時間を設けています。また、随時、保護者の相談に対しては時間とあって、すずらん内で話を聞いたり、相談支援員と連絡をとってフォローリーしています。また、その日の活動の様子等はお迎え時やさっそくノートにて伝えています。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	3			・保護者同士でお話をする機会を設けていただき、ありがとうございます。	・今年度は、すみれクラブと共に7月に「親子ヨガ教室」と保護者懇談会、8月にすずらんの課外活動に合わせて「親子ボーリング大会」を行いました。すずらんが平日のみの開所のため、なかなか保護者の皆様に集まっていた機会を作れず、申し訳ありません。また、来年度、すみれクラブと連携をとって、保護者会等を開ける機会を模索していきます。
非常時等の対応	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11					・保護者のみなさまからのご意見は、苦情の内容および対応等については、職員間で話し合い共通理解をし、返答を行い専用の用紙に記録しています。苦情等に関しては、その内容に応じて、第三者委員の方へ報告するなどの対応をしています。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11					・その日の活動や子どもさんの様子を保護者がお迎えの際伝えています。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11				・写真入り、いつも楽しみにしています。活動中の子どもの様子が見れて、会報楽しいです。	・行事予定や毎月の活動、子ども達の様子をすずらん通信にてお知らせしています。自己評価の結果も同法人の城ヶ丘保育園のホームページに掲載しています。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	11					・個人情報につきましては、施設サービス利用に係る個人情報提供同意書をいただき、個人情報の取り扱いには気をつけています。
満足度	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	1			・さっそくノートで連絡が来るのですがありがとうございます。	・緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等作成しています。避難訓練は毎月1回実施しています。すずらんの敷地が土砂災害警戒区域に入っているため、鹿児島市の方に社会福祉施設避難確保計画を作成し、提出して、災害に備えています。感染症が発生し、拡大が心配されるときは、さっそくノートで配信をして、保護者の皆様にもお子さんの健康管理のお願いを出せました。まだ十分に保護者の皆様に周知されていないところがありますので、面談や説明会にてマニュアル等の説明をさせていただきます。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11				・年間行事に入っているため、されているのではないかと思います。	・毎月すみれクラブ、すずらん合同で火災や地震を想定し、避難訓練を実施しています。そのうち、城ヶ丘保育園との合同訓練を1回行いました。また、7月の消防署の立て合い訓練の際は、スタッフが怪我をしたという想定での避難訓練を行いました。夏季休暇中には、鹿児島市の安全対策課から職員の方に来ていただき、交通安全教室も行いました。川上小学校からすずらんへの通学路をトラックや車が多く行き来します。横断歩道や道路の歩き方、注意する点を改めて子どもたちに教えていただきました。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	11				・毎日満足して帰ってきます。 ・毎日楽しく通っています。いつもありがとうございます。	・ありがたいご意見ありがとうございます。学校で十分頑張って帰ってきた子どもたちが「ただいま」とホッとする場所であつたと思います。その中で、子どもたちが少しでもすずらんに来て、よかったです。楽しかった。やった。と満足感、達成感を持つように、活動を計画し、支援していかなければと思っています。今後も、すずらんが子どもたちにとって安心して楽しくすごせる場であるように、職員一同頑張っていきます。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	11				・親子共々、成長させてもらっています。 ・いつも子どもたちへの支援ありがとうございます。	・ありがたいご意見ありがとうございます。保護者の方々と子どもたちに必要な支援は何か、一緒に考えながら、ご家庭と連携をとっていきたいと思っています。これからも、さまざまなプログラムを取り入れながら、子どもたち一人ひとりに応じた支援ができるように職員一同取り組んでいきます。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表) 【放課後等デイサービス】

公表:2024年2月9日

事業所名:放課後児童クラブすずらん

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・活動によっては人数を分けたり、戸外での活動にしたり人数に対する場所の確保はしています。大きなスペースはありますが、個別指導する際に個室を確保することが難しい日があるため、活動内容の検討をしながら確保しています。	・現状では、しっかりとした別室の確保をするのは難しいため、活動内容によっては、仕切りを設けたり、学年で活動を分けたりして活動を進めています。・トイレが小学生の体にあってないどころがありますので、今後どのようにしていかばよいか改善を図っていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・職員数においては、配置基準を満たしています。受け入れの子どもたちの発達段階に応じて、職員体制が取れるようにしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・バリアフリー化の配慮はしています。高学年の男児には男女兼用の体の大きさにあったトイレを使っています。	
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・個別支援計画会議、ケース会議、活動会議、毎月のミーティングなど多くの職員が参加し意見を出し合える環境をつくりっています。業務改善を進めるために、より一層職員が発言できる場を設けています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者にアンケートを行うことで、保護者の意見を踏まえて改善に努めています。しかし、職員体制等難しいところもあります。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・自己評価の結果および保護者アンケートの結果を受け、城ヶ丘保育園のホームページやきっずノートのお知らせにて公開しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者による外部評価の実施は行っていませんが、鹿児島県からの指導監査という形で外部評価を受けています。	・外部評価については今後検討していきます。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・法定研修(虐待防止、身体拘束禁止、衛生)、事業所内研修(療育について、県内の状況、他事業所の療育等)を計画的に行っています。今年度は、外部研修として救急法研修に2名参加しました。	・来年度も、計画的に研修を行います。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者のニーズ、子どものニーズを客観的に分析し、作成しています	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・事業所独自で作成したアセスメント表を使用して保護者に記入してもらう形で実施しています。・保護者が関係機関で受けた結果をすずらんにも開示してもらいたい参考にしています。	・今後、標準化されたアセスメントツールを導入していくよう、職員研修を行い、取り入れていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・活動のプログラムに関して、毎月活動会議にて活動内容を決定し、活動日までに計画準備を行っています。子どもたちの一人ひとりの発達段階に応じ、同じ活動内容でも、その子の課題に応じた準備をしたり、スタッフの配置に配慮したりしています。	
関係機関や保護者との連携	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・前月に活動内容を決定し、できるだけ活動プログラムが固定化しないようにしています。似たような内容が続く場合は、活動内容を考え子どもたちの支援に生かせる活動を入れています。今年度は、下級生はすみれクラブの同級生と一緒に活動をする機会を多く設けました。中集団の中で、コミュニケーションを取ったり、ゲームのルールを守ったりする経験を増やすことができました。	・子どもたちの発達段階がそれぞれ違うので、その子に応じた活動内容を、さらに工夫して行きたいと思います。また、長く通っている子どもたちには、毎年同じ内容の活動をすることで見通しがもてる利点がありますが、マンネリ化してしまうこともあるので、活動内容を精査していきます。また上級生には「何をして過ごしたいか」と自分で活動を選択する力をつけていけるように支援していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・平日のプログラムと長期休暇期間の活動に関しては内容を変えながら、子ども達の課題に沿った活動を設定します。特に長期休暇期間では、平日よりも少し時間がかかる制作活動や、学童保育の子どもたちと一緒に活動を取り入れたり、クッキングや課外活動を計画し、様々な体験ができるようにしたりしています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別活動と集団活動と組み合わせながら、計画を作成を行っています。子どもの状況によって、グループを変えたり、活動内容を精査したりしています。また子どもたちが自主的に自分の取り組みたい活動を選択できるように自由遊びの時間を設けています。	
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、療育の流れや担当について確認をしています。	
関係機関や保護者との連携	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後にできないときは、次の日に振り返りをしたり、毎月のミーティングでも活動についての振り返りや気づいたことを共有したりするようにしています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・子どもの様子について利用した日には必ず記録をしています。個別記録も1人ひとりファイルに綴り、支援の改善に努めています。また、毎月1回ケース会議を行う際に、1か月の記録を見直し、それぞれの課題やストリングスを表にして、職員全員で検討しています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・個別支援計画書を作成したあとに、ケース会議などで計画の見直しの必要性があるか職員で検討しています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			・ガイドラインに沿って、活動の組み合わせを考えるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・担当者会議には、ふさわしい者が参加しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・年度初めに、学校に挨拶へ行き、利用児名簿を提出したり、学校連絡メールに登録させてもらい、学校との情報共有をしています。トラブルや下校渋りがあった時は、直接学校とやり取りをすることを事前に保護者から了承を得て、支援にあたっています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	・該当児童はいません。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・相談支援員の方から情報を提供してもらっていますが、通っていた事業所や園からの情報提供がまだ十分ではありません。	・児童発達支援事業所、保育園、幼稚園等との情報共有ができるように、連絡を取りたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	・該当児童はいません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・保護者を通して、センターの助言をいただいている。	・事業所での研修に職員を派遣してもらえるように連携を取りたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・同法人内の学童保育と合同で遠足や行事を行っています。また、普段の活動の中で一緒に遊んだり、避難訓練を行ったりしています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・必ず参加するようにしています。今年度は、オンデマンド研修になったため、全員で参加することができました。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・普段のお迎え時に子どもたちの様子を伝えたり、年3回療育相談会を開き、子どもさんのについての悩みや相談を受け、一緒に発達の状況や課題について話をしています。また、保護者から急な相談事があった際は、電話や面談で時間をとって対応しています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っているか			○	・平日のみしか開所していないため、ペアレンツ・トレーニング等の会を開催することができませんでした。	・外部講師を招聘してペアレンツ・トレーニングが開催できるよう検討したいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・運営規定や支援の内容、利用者負担等については丁寧な説明を年度のはじめに、必ず保護者に行っています。	・すずらんの説明会に配布する資料を職員にも目を通してもらい、不明な所を説明するようにします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの相談を受けた際は、適切に応じるようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・父母会はありませんが、例年、年2回の保護者懇談会を開き、保護者同士の連携支援を行っています。今年度は、学童保育すみれクラブと共に「親子ヨガ教室」、すずらんの課外活動に合わせて「ボーリング大会」を開催しました。	
	33	子どもや保護者が自分の苦情にハマり、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・子どもや保護者から出た苦情に関しては、苦情処理簿に記録し、職員間で話し合い、迅速に解決できるようにしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月の月案やお便り、きっずノートを活用しながら保護者に対して発信しています。今年度は、コロナウイルス感染症も第5類に移行したため、感染対策をしながら、課外活動を行うことができ、その様子を月案でお知らせすることができました。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いについては、個人に関わる書類など鍵のかかるところで保管をしています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・お迎えの際に保護者とは必ず話しができるようにしていますが、伝え漏れや話しおしないことがないか職員同士で確認を徹底します。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		・地域住民を招待する行事を事業所単位で行うことはなかなか難しいです。また、コロナウイルス感染症が蔓延している中で、外部の方を招待しての活動は難しいのが現状です。今後、同法人の保育園と協力しながら課題として検討してきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・各マニュアルは作成し、手に取れる事務所内に掲示してあります。職員には、毎年4月の学童合同会議の際に、説明をしています。また、土砂災害警戒区域に敷地の一部がかかっているため、別に土砂災害の避難計画を作成しています。	・保護者の皆様へ、計画についての説明が十分ではない状況です。面談時に避難計画について説明ができるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎月1回学童保育すみれクラブと合同で避難訓練を行っています。その中で保育園との合同訓練、消防署立会訓練をそれぞれ年1回行っています。それぞれの職員がいろいろな役割を訓練で経験をしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・年に1回、必ず虐待研修をしています。今年度は、身体拘束禁止の研修、個別の対応についての研修も行いました。また社会福祉士会が開催した障害者虐待防止・権利擁護研修を、職員全員でオンデマンド研修に参加する予定です。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・小さなことでも、身体拘束、虐待にあたらないかを職員全体で話し合いを行い、個別に身体拘束に関する同意書を作成し、個別支援計画の面談時に保護者と確認をして、同意書を頂いています。	今年度は、身体拘束と認定される行為はありませんでした。今後も、子どもたちの状況に応じて、支援できるようにしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/	/	/	・該当児童はいません。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットの記録簿を作成し、職員が記入できるようにしています。	・ミーティングやケース会議で話し合いを行い、職員で共有できるようにしていきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)